

# カイゼン提案書

## 『パスワード』

### 現状をデータでチェック

- パスワードの認証方法が面倒だったり、利用方法がわからなかったりして、サービス利用を諦めた経験のある人が全世代で半数
- 60代～70代のパスワード管理  
1位はアナログ(手帳やノートに手書き)  
2位は自分で覚える

### よいところ

- ・しっかりとパスワード管理ができれば安心
- ・スマホをつかっての「二段階認証」は安心
- ・忘れてしまってもすぐに新しいパスワードを設定できる、そのほうが安心

### イマイチなところ

- ・もっているパスワードは100個以上、整理するのが難しい
- ・パスワード管理方法の正解がわからない  
デジタル?アナログ?なにがいいの?
- ・結局使いまわしてしまっている
- ・難しいと覚えられない、簡単だと最近では予測で解読されてしまうので怖い
- ・認知症になったらどう管理していいか不安
- ・シニアは終活があるので、個人情報でありながら誰かと共有する必要がある、共有方法がむずかしい
- ・個人なら頑張れるが、団体や会社だと単純なパスワードにしないとみんなが覚えられない

### こんなふうにカイゼンしたい!

#### ■カイゼン1 管理方法

- ネット上にパスワード一覧を置いて鍵をかけておけば、その鍵のパスワードだけを覚えればいいので安心
- お金にまつわる場所は例え難しいパスワード管理方法でもがんばれる。それ以外は簡単に管理したい

#### ■カイゼン2 顔認証や指紋認証など

- 便利だとは思うけど、寝たきりになったり病気になったりしたときに使えるのか?と不安もある
- 指紋は怪我をしたときに使えなかった。もっと確実な生体認証があるといい

#### ■カイゼン3 デジタルとアナログ

- デジタル管理だけでなく、アナログをはさんだほうが安心するのでは?
- アナログでの管理がシニアには向いている。更新した日付もしっかり明記するなど工夫を共有したい

#### ■カイゼン4 質問型

- 「母親の旧姓は?」「ペットの名前は?」などは答えがわかってしまう。自分だけしかわからない質問を設定できるとよい

### まとめ

- ・正解はないかも知れないけれど、出来るだけ正解に近づきたい
- ・結局、なにをやっても不安がぬぐえない

「シニアは何が起こるか分からないから  
個人情報を  
“共有”する必要がある」